

本事例の基礎データ

カテゴリ	文字入力（タイピング）に関する指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	町田市立町田第五小学校
学年	2 学年	教科等	裁量の時間
単元（題材）名	ローマ字入力にちょうせん		
主な ICT 機器	・LTE タブレット PC（キーボード付き ChromeOS 機／一人 1 台）		
ワンポイント	小学生向けキーボード検定サイトを使用して、ローマ字入力に慣れ、授業で活用していけば、低学年でもタイピングで文字入力を行うことができる。		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	基本的操作	STEP2	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードで文字入力ができる（10 文字程度/1 分間） ・入力モード切替、数値入力、ローマ字入力

本事例における教育の情報化について

【ポイント 1】	<ul style="list-style-type: none"> ●一人 1 台の LTE タブレット PC の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・1 年生からの継続的な指導で、PC の持ち運び、起動、ログインなどが定着しているか、確認する。
【ポイント 2】	<ul style="list-style-type: none"> ●キーボード検定サイトを活用 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の意欲を高め、ローマ字入力に慣れさせる。すきま時間での積極的なサイト活用を促す。
【ポイント 3】	<ul style="list-style-type: none"> ●日常の授業で文字入力の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業でも積極的に文字入力を行わせる。その際、児童同士の教え合いを大いに認める。

本単元（題材）における指導の流れ

時間	●主な学習活動 ・ 児童の活動	○支援・留意点 ☆評価
授業時間（一時間）	<p>●ローマ字について基本を知り、サイトを使って練習する</p> <p>【ポイント1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LTE タブレット PC を運ぶ。 ・PC を起動する。 ・自分の ID でログインする。 <p>【ポイント2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイトにアクセスし、ローマ字表を用いながらローマ字入力の練習をする。 	<p>○安全な持ち運び、起動、ログインについて、定着しているか。十分でない児童には個別に指導する。</p> <p>☆安全な持ち運び、起動、ログインが自分でできるか。</p> <p>※1年生から使用している。</p>
教科指導の合間	<p>●ローマ字検定に挑戦し、文字入力に慣れる。</p> <p>【ポイント2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でサイトにアクセスし、文字入力をゲーム感覚で楽しみながら練習する。 ・検定の結果を知り、次への意欲を向上させる。 	<p>○空いた時間を使ってローマ字検定を活用するよう奨励する。</p> <p>○児童が活用しやすいようにリンクを貼っておく。</p> <p>○お気に入りに登録する方法を伝える。</p> <p>○検定をがんばっている児童をクラスで紹介する。</p>
日常的な教科指導中	<p>●日常的な授業での文字入力の活用</p> <p>【ポイント3】</p> <p>指導の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳 Jamboard <p>クラスの良いところを記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 Jamboard <p>単語を入力 言葉集め なかまわけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活 「小さななかまたち」「ぐんぐんそだて」 <p>「スライド」で文章を入力</p> <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語を考えた文づくり <p>算数 「フォーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返り <p>国語 「スプレッドシート」</p> <p>意見を書き、コメントをやりとりする。</p> <p>など</p>	<p>○単語入力から始めて、短文、文章、コメントのやりとりなど、少しずつ長い文が打てるようにしていく。</p> <p>（☆評価は、各教科で行う。）</p>

本時の流れ

段階	● 主な学習活動 ・ 児童の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● ローマ字表記について知る ・日本語はローマ字で表記できることを知る。 ・PCにはローマ字入力が必要なことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的によく見かけるローマ字について紹介する。
ローマ字入力にちょうせんしよう		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● ローマ字の基本について知る ・アルファベットの読み方と形について知る。 ・ローマ字の構造について知る。 ● ローマ字検定サイトで、ローマ字入力を体験する。 【ポイント1】【ポイント2】 ・PCを起動させる。 ・キーボード検定サイトを開き、チュートリアルを体験する。 ・ID、パスワードを入力し、ローマ字入力検定を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットの呼称や形については、必要な分だけ、ゆっくり覚えればよいことを伝える。 ○ローマ字の構造が行と段に対応していることを意識できるようにする。 ○ローマ字検定サイト「キーボー島アドベンチャー」を紹介する。ログインIDやパスワードは事前に準備しておく。 ○PC操作で困っている友だちと教え合うようにする。 ☆検定サイトのアクセス方法が分かり、楽しんでローマ字入力に挑戦している。【知識・技能】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● ローマ字入力の良さについて振り返る ・初めて文字が打てた。 ● キーボード検定サイトについて振り返り、これからの取り組みについて考える ・楽しくできた。 ・もっとちょうせんしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○わずかでもできたことを認め、少しずつ慣れていけばよいことを伝える。 ☆これからも楽しんでキーボード検定に挑戦しようと考えている。【知識・技能】

授業の実際

【ポイント1】 ●一人1台のLTEタブレットPCの活用



- ・1年生からタブレットPCには親しんでおり、起動やログイン、終了などの作業で滞ることはほとんどない。
- ・導入時には4年生から指導を受けており、友だちと教え合うことにも慣れている。

【ポイント2】 ●キーボード検定サイトの活用



- ・ゲーム感覚でローマ字入力の練習ができる。
- ・一文字の入力から始まり、単語、文へと少しずつレベルが上がっていく。

【ポイント3】 ●日常の授業での文字入力の活用



- ・サイトでの検定で学んだことは、日常の授業で生かす。
- ・実際に使うことが一番の習熟要因である。単語集めや短文から始めて、感想やコメントのやり取りなど、自分の言葉を入力できるようになっている。

今後に向けて

- 速度の差はあるが、全ての児童が文字入力を行うことができた。低学年から文字入力を行うことで、他の授業で意見交流を行ったり、情報を共有したりすることが容易になった。文字入力で可能性が大きく広がることが分かった。
- 低学年のコメントのやりとりは、友だちへの思いやりが感じられるあたたかいものである。低学年から取り組むことで、ネットモラルが自然と育成されることが期待される。